



# 平成30年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年12月27日

上場会社名 ホシザキ株式会社

上場取引所 東名

コード番号 6465 URL <http://www.hoshizaki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 靖浩

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 世古 義彦

TEL 0562-96-1320

四半期報告書提出予定日 平成30年12月27日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	226,763	3.4	32,092	2.7	32,989	3.1	22,510	6.5
29年12月期第3四半期	219,271	5.8	31,234	1.0	31,989	23.8	21,142	29.7

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 21,868百万円 (0.4%) 29年12月期第3四半期 21,961百万円 (193.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	310.85	
29年12月期第3四半期	291.96	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年12月期第3四半期	341,675	223,322	64.9	3,061.88
29年12月期	316,637	206,900	64.7	2,830.48

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 221,732百万円 29年12月期 204,967百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期		0.00		70.00	70.00
30年12月期		0.00			
30年12月期(予想)				80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日(平成30年12月27日)公表いたしました「期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	287,900	2.0	36,100	0.1	37,200	0.3	24,500	5.9	338.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期3Q	72,418,250 株	29年12月期	72,415,250 株
期末自己株式数	30年12月期3Q	981 株	29年12月期	903 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期3Q	72,415,810 株	29年12月期3Q	72,414,438 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書 .....	4
四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(会計方針の変更) .....	6
(会計上の見積りの変更) .....	6
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内の経済環境は、経済政策、金融施策の実施等により、雇用・所得環境の改善が見られ、景気は緩やかに回復し、設備投資は増加いたしました。一方で、個人消費は持ち直しが続くものの、消費者物価上昇の動きには鈍化が見られました。

海外におきましては、米国では景気は堅調に推移し、欧州では景気は緩やかに回復し、アジアの新興国では景気は持ち直しの動きが見られました。一方、中国では景気は持ち直しの動きがみられるものの、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。また、為替は緩やかな円高傾向で推移いたしました。

このような環境のなか、当社グループは、国内では、引き続きフードサービス産業等への積極的な拡販と新規顧客の継続的な開拓に取り組みました。海外では、米国を中心に、主要販売先であるフードサービス産業等において、主力製品の拡販に努めました。なお、原価低減に加えITを活用した業務の効率化や生産性向上に努め、利益の確保に継続的に取り組みました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,267億63百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益320億92百万円（同2.7%増）、経常利益329億89百万円（同3.1%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は225億10百万円（同6.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ①日本

日本におきましては、冷蔵庫、製氷機及び食器洗浄機等の積極的な拡販並びに新規顧客への積極的な開拓を推進いたしました結果、売上高は1,553億20百万円（前年同期比3.8%増）、セグメント利益は223億39百万円（同1.8%増）となりました。

## ②米州

米州におきましては、製氷機、冷蔵庫等の積極的な拡販を推進いたしました結果、売上高は509億74百万円（前年同期比0.4%増）、セグメント利益は79億50百万円（同2.1%増）となりました。

## ③欧州・アジア

欧州・アジアにおきましては、主力製品の積極的な拡販を推進いたしました結果、売上高は268億77百万円（前年同期比10.9%増）、セグメント利益は23億28百万円（同21.6%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ250億37百万円増加し、3,416億75百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ273億63百万円増加し、2,818億95百万円となりました。主な要因は、現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ23億26百万円減少し、597億80百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の減少によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ86億15百万円増加し、1,183億52百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ82億31百万円増加し、949億52百万円となりました。主な要因は、賞与引当金、支払手形及び買掛金の増加によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ3億83百万円増加し、233億99万円となりました。主な要因は、退職給付に係る負債の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ164億22百万円増加し、2,233億22百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年2月13日の決算短信で公表いたしました平成30年12月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	187,224	202,454
受取手形及び売掛金	30,261	39,604
商品及び製品	16,079	14,322
仕掛品	3,338	4,329
原材料及び貯蔵品	9,132	10,051
その他	8,640	11,278
貸倒引当金	△145	△144
流動資産合計	254,531	281,895
固定資産		
有形固定資産	45,775	44,289
無形固定資産	6,835	5,649
投資その他の資産	9,495	9,841
固定資産合計	62,106	59,780
資産合計	316,637	341,675
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,893	19,099
未払法人税等	4,925	5,732
賞与引当金	3,427	9,236
その他の引当金	1,664	1,754
その他	59,810	59,129
流動負債合計	86,720	94,952
固定負債		
退職給付に係る負債	17,298	17,634
その他の引当金	1,565	1,463
その他	4,152	4,301
固定負債合計	23,016	23,399
負債合計	109,737	118,352
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,993	8,008
資本剰余金	14,516	14,530
利益剰余金	183,475	200,916
自己株式	△3	△4
株主資本合計	205,981	223,451
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	313	238
為替換算調整勘定	463	△308
退職給付に係る調整累計額	△1,791	△1,649
その他の包括利益累計額合計	△1,014	△1,719
非支配株主持分	1,932	1,590
純資産合計	206,900	223,322
負債純資産合計	316,637	341,675

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	219,271	226,763
売上原価	133,511	139,575
売上総利益	85,759	87,187
販売費及び一般管理費	54,525	55,094
営業利益	31,234	32,092
営業外収益		
受取利息	665	1,033
その他	583	387
営業外収益合計	1,249	1,420
営業外費用		
支払利息	57	56
為替差損	326	261
その他	110	205
営業外費用合計	494	524
経常利益	31,989	32,989
特別利益		
固定資産売却益	9	10
特別利益合計	9	10
特別損失		
関係会社出資金売却損	—	248
その他	34	21
特別損失合計	34	269
税金等調整前四半期純利益	31,964	32,730
法人税、住民税及び事業税	13,481	12,543
法人税等調整額	△2,828	△2,490
法人税等合計	10,653	10,052
四半期純利益	21,310	22,677
非支配株主に帰属する四半期純利益	168	167
親会社株主に帰属する四半期純利益	21,142	22,510

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	21,310	22,677
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22	△75
為替換算調整勘定	451	△876
退職給付に係る調整額	177	142
その他の包括利益合計	651	△809
四半期包括利益	21,961	21,868
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,647	21,805
非支配株主に係る四半期包括利益	314	62

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	欧州・アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	146,477	50,033	22,760	219,271	—	219,271
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,147	736	1,481	5,365	△5,365	—
計	149,624	50,770	24,242	224,637	△5,365	219,271
セグメント利益	21,946	7,788	1,914	31,650	△415	31,234

(注) 1. セグメント利益の調整額△415百万円には、のれんの償却額△525百万円、無形固定資産等の償却額△260百万円、棚卸資産の調整額△53百万円、その他セグメント間取引の調整等423百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	欧州・アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	151,221	50,265	25,275	226,763	—	226,763
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,099	708	1,601	6,409	△6,409	—
計	155,320	50,974	26,877	233,172	△6,409	226,763
セグメント利益	22,339	7,950	2,328	32,618	△525	32,092

(注) 1. セグメント利益の調整額△525百万円には、のれんの償却額△325百万円、無形固定資産等の償却額△84百万円、棚卸資産の調整額△123百万円、その他セグメント間取引の調整等7百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(子会社株式の追加取得)

当社は、平成30年9月28日開催の取締役会において、Western Refrigeration Private Limitedの株式の一部を追加取得することについて決議し、平成30年11月9日付で同社株式を取得しました。

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

名称：Western Refrigeration Private Limited

事業の内容：インドにおける冷蔵ボトルショーケース及び冷蔵・冷凍ストッカーの開発・生産・販売、保守サービス

(2) 企業結合日

平成30年11月9日

(3) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

(4) 結合後企業の名称

変更ありません。

(5) その他取引の概要に関する事項

Western Refrigeration Private Limitedの株式の7%を追加取得し、当社の持株比率は83%となります。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日)に基づき、共通支配下の取引等のうち、非支配株主との取引として処理を行う予定です。

3. 子会社株式の追加取得に関する事項

取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	815百万円
取得原価		815百万円